

令和4年1月4日

## 令和4年(2022年) 年頭所感

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会  
会長 白砂 清一  
(大静高圧(株)代表取締役)

令和4年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。  
平素は当協会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

容器再検査事業はコロナ禍の影響が少なく検査所は総じて安定操業に努めることが出来ました。本年の検査対象容器は、2000年のオール電化キャンペーン等の影響で前年比約3.5%減の482万本を見込み来年まで落ち込みますが、翌24年から再び490万本に回復する予定です。



バルク貯槽20年告知検査が24年のピークに向け増加する中、くず化の進捗状況については関係者皆様のご協力もあり順調に処理が進んでいます。また、バルクからシリンダーに切り替える傾向からシリンダー需要が堅調であり再検査本数は暫く安定する見通しです。FRP容器は中国工業(株)から20Kg容器が販売されており、高圧ガス保安法容器保安規則の改正で再検査時の刻印は、アルミシールに刻印する方式に加え印字による表示も認められています。今後は利便性が高い容器として利用拡大が進むと考えています。

近年の検査所は機械設備導入による自動化で検査品質の維持向上と効率化が進み、粉体塗装も普及して有機溶剤の使用が減り労働安全衛生の環境も整ってきました。併せて働き方改革関連法により適正な労働時間と生産性の向上に取り組んでいます。データ駆動型社会にシフトする中で、関係する審議会の保安規制・制度の見直しが始まっており、検査所も時代のニーズに対応していくことが不可欠となっています。将来は、日本がリードしている水素分野の脱炭素・エネルギー源としての位置づけを考えると、その容器の活用増加も見据える必要が出てきました。

新年を迎えるにあたり、進歩する再検査技術のスキルアップと保安を担う協会として会員・賛助会員・関係する企業と団体の皆様との連携を強化し業界の発展と地位向上に努めてまいります。これからも引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。